



9月 園だより

令和7年9月1日
目黒区立中央町保育園園長

夏の暑さは年々厳しくなり9月に入っても猛暑が続いていますが、空高く舞うトンボを見かけると秋が近づいていることを感じます。この夏、子どもたちは日よけタープの下で水遊びやプール遊びを存分に楽しむことができました。0、1、2歳児クラスは水やゼラチン、氷などの感触を味わいながら冷たさや心地よさを感じたり、素材のおもしろさを発見したりして水遊びを満喫していました。3、4、5歳児クラスは大きなプールで水の流れを感じながら、動物になりきって泳いだりそれぞれが好きな泳ぎ方を披露したりして子どもたち同士で良い刺激となっていたようです。

右の写真は5歳児の人数報告当番が事務所で飼っているザリガニにエサやりをしている様子です。ちょうどザリガニが脱皮し、ふだんなかなか見ることがない場面なので「どうして皮を脱いだのかなぁ」と不思議そうに見ています。脱皮について説明すると「ザリガニ、もっと大きくなるんだね」とザリガニの成長に興味津々でした。

園生活やご家庭でのこの夏の様々な経験が、子どもたちの自信と好奇心につながり今後さらに主体的に過ごせるよう、思いに寄り添いながら保育を進めていきたいと思ひます。



【9月の予定】

引き渡し訓練
中旬頃 身体計測

【運動会のお知らせ】

詳細は改めてお知らせいたします。

0歳クラス



なんだろう、これ…

食育・クラス調理

1歳クラス



あかい、あかい
とんとんトマト

4歳クラス



みんなで食べるから
そっと取らないとね

2歳クラス



これから
なにをするの??

3歳クラス



あった
大きくなって

5歳クラス



ぶくぶく
泡がでてきた



夏のプール遊びをたくさん楽しみました



もみじ組 (3歳児クラス)



プール開きの前にお気に入りの水着を着る練習をしてみたり、水を入れていないプールに入ってみたりすることで、子どもたちの中でプールを楽しみにする気持ちが段々と大きくなっていきました。プールが始まり、いざ入水してみると「冷たい」と水の冷たさに驚く子もいましたが、保育士が「恐竜になろう」と子どもたちの好きなものになりきって遊べるよう誘いかけると「ガオー」と言いながら動き始めていました。さらに慣れてくると肩まで水に浸かってワニのように泳げる子も増えてきました。友達の姿を見て「やってみよう」という思いから挑戦し、出来るようになるまで「できた」と喜びの表情を見せてくれ、プール活動を思いきり楽しんだ子どもたちでした。

これからもプール遊びで感じられた「できた」という自信を大切にしていきたいと思います。

プールが始まったころは、屋上の大きなプールにドキドキしている子もいました。けれど何度も入るうちに「今日は入れるかな」「早く入りたい」とプールを楽しみにしている声が聞かれるようになりました。大きなプールに慣れることから始めた活動も、段々とダイナミックになりビート板でバタ足をしながら顔をつけて泳いだり、顔に水がかかるのが苦手だった子が自分から水に顔をつけたりできるようになりました。また、子ども同士刺激を受け合いながら、友達の姿を見て「やってみよう」と挑戦する姿も多く、どの子もその子なりの「できた」を感じて、大きく成長した2か月でした。プールでの活動で得た自信や友達との関りを活かしながら、これからも友達と一緒に楽しめるようにしていきたいと思っています。

いちよう組 (4歳児クラス)



ぽぷら組 (5歳児クラス)



今年の夏は水の不思議に興味を持てるよう氷を使った水遊びを行いました。氷を掌に乗せるととても冷たく「手がピリピリ痛い」と水との温度の差を感じていました。そしてどうやったら氷が溶けるのを遅くできるかとカップにたくさん氷を入れてみたり、カップに蓋をして日光を遮断してみたり、様々な方法を試し発見をしていました。

プールでは水圧を感じながらも力強く走ることができるようになってきているので、皆で同じ方向に走ると勢いがある水の流れが出来ます。その水の流れに身を任せると体が浮きながら、勝手に動いていくことに気がきました。体が水に浮いたり、沈んだりするという事を知った中で、ビート板を使用しどうやったら浮くのかを考えています。抱え方を変えたり寝そべてみたりと色々試してみた結果、ビート板を胸に抱えラッコのような体勢で体の力を抜くと浮く事に成功した子どもたちです。プールは自分で立てた目標に向かって取り組んできました。目標達成を目指していく中で少しドキドキすることも友達の応援や頑張る姿に刺激され「やってみよう」と挑戦する事や、「出来たね」「やったね」と共感し合った喜びを今後の活動に繋げていきたいと思っています。